

2024年度 スクールソーシャルワーク全国実践研究集会

～複雑化、多様化する子どもの困難に私たちはどう向き合っていくのか～

学校教育法施行規則の一部を改正する省令において「スクールソーシャルワーカー」が明記され、2022年12月の『生徒指導提要』（改訂版）では学校教育における支援チームとアセスメントの体制づくりにスクールソーシャルワーカーの役割が明示されています。また、地域共生社会の実現に向けて、学校と市区町村のつなぎ役としてスクールソーシャルワーカーの役割が期待されています。

また、子ども家庭庁が設置されて2年目ですがこどもに関しての事務は多岐にわたります。こども家庭庁設置法第4条第1項第17号に「いじめ防止対策推進法の規定によるいじめの防止等に関する相談の体制その他の地域における体制の整備に関すること。」があり、今般「いじめ」の状況の深刻化に対して「いじめ防止対策に関する関係省庁連絡会議」で示された「いじめ防止対策の強化について（14の検討項目）」を順次着手実施することになりました。スクールソーシャルワーカーにとっては正面から取り組むべき内容ですので行政説明、実践報告、シンポジウム等を通して知見を深めることを目的として開催いたします。

1. **開催日時**：2025年2月16日（日）9：00～15：30

2. **会場**：オンライン会議室（Zoom ウェビナー）

3. プログラム

時間	内容
9：00～9：10	オリエンテーション、開会挨拶
9：10～10：10 (60分)	行政報告：こども家庭分野の政策動向と社会福祉士への期待 報告者：菊地 史晃 氏 (こども家庭庁 支援局総務課企画官 いじめ・不登校担当)
10：10～10：20	休憩
10：20～11：20 (60分)	実践報告：「チーム学校」における校内連携、関係機関連携とアセスメントの体制づくり 報告者：福島 史子 氏（鳥取県社会福祉士会 子ども家庭支援委員会 鳥取県教育委員会いじめ・不登校総合対策センター スクールソーシャルワーカースーパーバイザー）
11：20～11：30	休憩
11：30～12：30 (60分)	実践報告：メンタルヘルス課題を抱えたこども・保護者への支援のあり方 報告者：高口 恵美 氏（日本精神保健福祉士協会 子ども・家庭・スクールソーシャルワーク委員会）
12：30～13：30	昼食休憩（60分）
13：30～15：20 (110分)	シンポジウム：多職種・多機関連携で培うべき私たちの資質・能力 コーディネーター：鈴木 庸裕 氏（日本社会福祉士会 子ども家庭支援委員会） 【シンポジスト】 高口 恵美 氏（日本精神保健福祉士協会 子ども・家庭・スクールソーシャルワーク委員会） 小林 拓 氏（静岡県社会福祉士会） 弓田 香織 氏（長野県教育委員会 スクールソーシャルワーカースーパーバイザー）
15：20～15：30	閉会

4. **参加対象**：社会福祉士、教職員、教育行政、児童福祉関係者、スクールソーシャルワークに関心がある者等

5. **定員**：180名（先着順）

6. **参加費**：都道府県社会福祉士会の会員 4,000円 会員以外 5,000円

7. **申込方法** : 右記のQRコードまたは下記のURLから、本研究集会の申込フォームにアクセスしていただき、必要事項をご入力の上、お申し込みください。



【URL】 <https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=oard-1ctete-789d8798a111144fca90d3f88a3db1a0>

8. **申込締切** : 2025年1月9日(木) (先着順)

9. **参加可否** : 参加の可否は、1月末までに、ご登録いただいたメールアドレス宛てにご連絡します。併せて、参加費の納入方法、キャンセルの扱い等についてもご案内します。
※参加申し込みが少ない場合は、開催しないことがあります。

10. **研修単位** : 全てのプログラムを修了することで、生涯研修制度の単位として、生涯研修制度独自の研修・実績の4.5時間分となります。

11. **留意事項** : ・本研究集会の参加には、PCまたはスマートフォン等の機器と、インターネットに接続できる環境が必要です。＜参加に必要な機材の例＞は以下のとおりです。マイク及びカメラがない場合でも参加可能ですが、質問等がある場合に対応いたしかねますので、予めご承知置きください。

＜参加に必要な機材の例＞ ※以下のいずれかを満たしていることが必要です。

- ・内蔵または外付けカメラ+WindowsPC (Windows8.1または10)
 - ・内蔵または外付けカメラ+Mac (OS10.13以降)
 - ・内蔵カメラ+iPad (iOS12またはiPadOS)
 - ・内蔵カメラ+タブレット (Android7以降)
 - ・内蔵カメラ+スマートフォン
 - ・現在は所有していないが、研修までに購入する予定
- ・インターネット環境も各自で準備ください。通信料等は各自の負担になります。なお、使用する機器や各種契約により、通信料が高額になる場合も想定されますので、予め確認してください。
- ・本研究集会では、Zoom ウェビナーを使用しますので、事前に Zoom アプリをダウンロードしてください。Zoom アプリをダウンロードしたら、接続テストを行うことを推奨します。なお、本研究集会の受講だけであれば、Zoom アカウントの取得（サインアップ）は不要です。
＜Zoom テスト用 URL : <https://zoom.us/test>＞
- ・自然災害の発生等により、本研究集会を中止することがあります。本研究集会が中止となった場合は、参加費の返金を行います。
- ・通信環境・通信機器等の原因により、当日参加できない場合の返金は、対応いたしかねますので、予めご承知置きください。
- ・申し込みされた個人情報は、本研究集会の運営以外の目的には使用しません。

12. **主 催** : (公社) 日本社会福祉士会

13. **後 援** : 文部科学省、こども家庭庁

14. **問い合わせ先** : (公社) 日本社会福祉士会 生涯研修センター (受付時間 : 平日 9 : 30 ~ 17 : 30)

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-13 カタオカビル 2F

TEL:03-3355-6541 e-mail : kenshu-center@jacsw.or.jp